

3学期 始業式

1月8日（水）寒い朝となりましたが、令和6年度の3学期始業式を実施しました。

齋藤校長の式辞では、年末年始の家庭での様子、周囲への感謝の気持ちが表せたかどうかの確認後、「1年の計は元旦にあり」という言葉を引いて、年頭に心機一転何か心に決め、計画を立てることの大切さが伝えられました。



校長式辞

各学年に向けたメッセージ

- ・（3年生へ）残りわずかな高校生活。進学の子はあとひと頑張り、進路が決まっている生徒は、最後の高校生活を充実させてもらいたい。
- ・（2年生へ）進路について全体的に考える時期。学校や親などからしっかりと情報を仕入れて進路実現にむけて頑張ってもらいたい。
- ・（1年生へ）進路実現に向けて情報を仕入れることが大切である。また、資格試験等を受けることで、進路選択の幅が広がるのでしっかり頑張してほしい。



生徒支援部長講話

谷河生徒支援部長からは、年末の部活動の練習に参加した卒業生が、突然起こった近隣の山火事の際に行った対応の素早さについて述べ、そのような社会人になるために、来年度に向けてどうするか考えて動ける人材になるようにとの話がありました。そして、3学期の学年を締める時期に次年度に向けての各学年の行動についての話がありました。

各学年へのメッセージ

- ・3年生は、就職進学等で新しい場所に行くので、次の年度に向けて、どのように準備をしていくかが大事である。
- ・2年生は最高学年となり、自分の立ち居振る舞いが神崎高校の顔になるので、3年生としてあるべき姿を考えること。
- ・1年生は先輩になるので、後輩の頼りになり、学校生活での道を学ばせる存在になること。

最後に、2学期の行動の反省をし、3学期は落ち着いて学校生活を送り、気力、体力を充実させて次年度に進むよう話がありました。

